

「命のみなとネットワーク」について

参考資料

- 近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことがない豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生。
- 陸路が寸断し孤立化した被災地において、緊急物資や救援部隊、被災者等の海上輸送の事例が増えつつある。
- こうした状況を踏まえ、「みなと」の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域で、防災訓練の実施などネットワーク形成に向けた取組を進めていく。

「命のみなとネットワーク」の主な機能

【被災者の救援輸送拠点】



R3年8月大雨で孤立した地域で住民輸送を実施（青森県風間浦村）

【支援物資輸送拠点】



H30年7月豪雨時の物資輸送（広島県中田港）

【生活支援拠点】



H28年熊本地震発生後、官公庁船から市民への給水を実施（熊本県熊本港）

「命のみなとネットワーク」形成に向けた取組

【国土交通省・市町村等による防災訓練の実施】

“みなと”を活用した物資輸送や被災者輸送等の防災訓練を定期的を実施。



八木港で行われた緊急物資輸送訓練（R5年1月）

八木港で行われた被災者輸送訓練（R5年1月）

R5年1月に岩手県八木港で実施した、船舶を活用した緊急物資輸送・被災者輸送訓練

【「命のみなとネットワーク」の形成に向けて～“みなと”を活用した災害支援事例集ver1～の作成】

“みなと”を活用した災害対応支援を行った過去事例をまとめたもの。
 詳細は下記URLを参照
https://www.mlit.go.jp/report/press/port07_hh_000182.html

